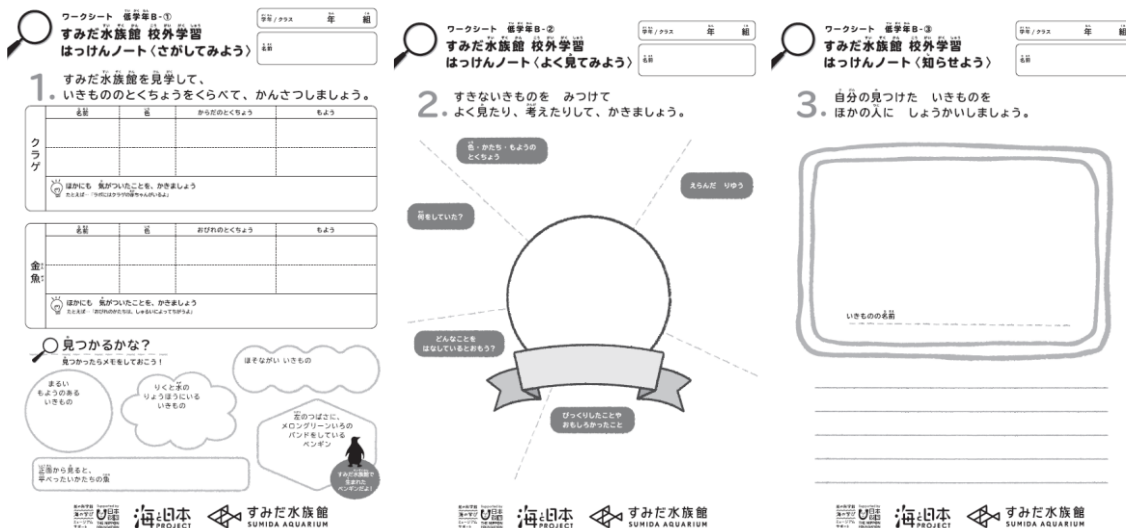


すみだ水族館

学習指導要領に対応した「海の学び」ワークシートの開発、運用、改善

実施期間：2021年4月30日（金）～2022年3月31日（木）



ワークシート



館内での取組のようす

【事業の内容・目的】

- 海や自然環境と触れる機会の少ない東京都区内近隣の小学生にとっては、地域の水族館から海や水辺などにくらすいきものや自然環境、さらには飼育員の仕事を通じたキャリア教育の実施など、地域学習の一環として水族館が「学びの場」となることを期待。
- 「海にすむ生き物」への興味や学びを入口に、地球環境や生物多様性など更なる興味への喚起を行うことで海への親しみを高めることを目的に開発した。さらに、海の生き物だけではなく、海の生き物を飼育する立場から海を守る仕事にも着目したテーマも設けることで、キャリア教育の一環も兼ね、海のことを考える大人との接点を作り、海とかかわる仕事についても興味関心を持つきっかけとなるようにした。
- 学校側が水族館を活用した授業を展開しやすいように、水族館側が提供したい学びと合わせて学習指導要領に合った内容のワークシートを設計することで、幅広い年齢層への対応することができる。

活動の様子

1. 校外学習としてすみだ水族館に来館する小学校の学習効果 を高めるワークシートの開発

【開催日時】2021年4月30日（金）～2021年5月31日（月）

【開催場所】すみだ水族館

【参加者数】3名

【活動内容・目的】

- ワークシート毎に先生向けの指導要綱も作成し、忙しい先生方に負担を掛けず、学校の状況に応じて事前学習、校外学習、事後学習を進めることが可能な設計とする。
- 当館スタッフは海や海洋生物に関する知識にだけているものの学校教育に対応した子供向けの学びという視点での開発が難しい。そこで開発の際には、こども向け体験講座の企画運営、保育園の立ち上げ支援の経験も有る有識者にご協力をいただき、より子供たちの視点に沿った楽しく学べる海の学び教材を目指した。



すみだ水族館のようす



開発ミーティングのようす

ワークシート 中 / 高学年B-①
すみだ水族館 校外学習
学習ノート〈準備〉

学年 / クラス 年 組
名前

1. すみだ水族館で働く人について、知りましょう。

いきもの日々の健康管理を行っています。ゴハンをあげたり、そうじをしたりしながら、毎日観察することで変化を察知することが重要で、いきものが水族館で長く健康に暮らしていけるために、ちよとした変化も見逃さないように、日々懸命に向き合っています。毎日いきものと家族のように接している飼育スタッフだからこそ、いきもの変化に気づくことができます。

飼育スタッフ

日常的に観察しているからこそ気が付ける「いきもの魅力」や「いきものを思う気持ち」を、来館されたお客さまにお伝えすることも大事な仕事の一つです。体験プログラムに参加したり、SNSなどで発信したり、どんな風にお伝えしたらよいかという企画も考えています。いきものや水族館に対する誇りや情熱を持って働いています。

ワークシート

ワークシート 指導書

すみだ水族館 校外学習
はっけんノート①

1. すみだ水族館を長年して、このプロジェクトの、いきもの暮らしや生活の姿が面白いです。いきものをよく見て、しつものに喜ばせよう。

観察の仕方

観察の場所

観察の時間

観察の道具

観察の記録

観察の発表

すみだ水族館 SUMIDA AQUARIUM

ワークシートの指導書

当館では、地域の水族館から水にくらすいきものや自然環境、さらには飼育員の仕事を通じたキャリア教育の実施など、地域学習の一環として「学びの場」を提供している。これまで、地域内外を問わず様々な団体に当館を活用いただいていた。そこで、学校側が水族館を活用した授業を展開しやすいように、水族館側が提供したい学びと合わせて学習指導要領に応じた内容のワークシートを設計することで、幅広い年齢層への対応することができるとし、本プログラムでは「海にすむ生き物」への興味や学びを入口に、地球環境や生物多様性などへの更なる興味への喚起を行うことを目的に開発した。学校の授業でより活用しやすいよう低学年・中高学年と学年に応じてワークシートを製作し、さらに教員向けの指導書も用意する

【参加者の声】

- 知識を得るためだけのワークではなく、自分で考え、自分の視点で水族館の魅力に気づくような問いにしよう意識して、ワークシートを開発した。水に住む生き物や、その環境に興味を持つきっかけになれば嬉しく思う。(清水美恵氏)
- 生き物の知識や生き物への想いについて伝える機会が限られた人員と時間の制約があるなか、幅広く伝えることが出来るツールの開発は待ち望んでいたものであった。(飼育スタッフ)
- 水族館の視点で解説になりがちなワークシートだが、経験豊富な外部有識者の知見を取り入れることで満足いく仕上がりになった(企画スタッフ)

2. 「海の学び」ワークシートの運用

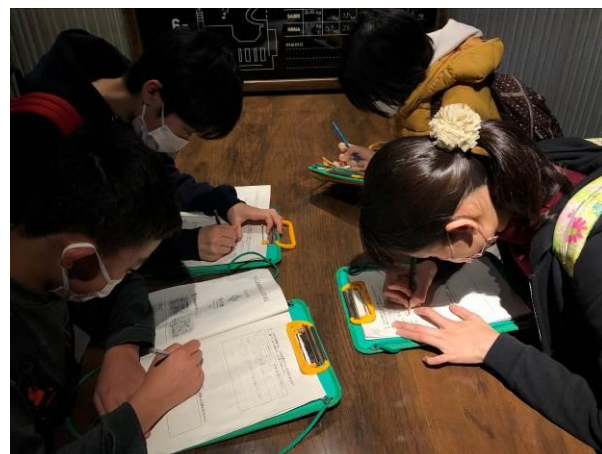
【開催日時】2021年10月1日（金）～2022年3月31日（木）

【開催場所】すみだ水族館

【参加者数】小学生1,083名

【活動内容・目的】

- 学校の授業の中で水族館に訪れた際に、水族館のいきものを見るときに視点が得られるようなオリジナルのワークシートを開発し運用。
- すみだ水族館公式HPにてワークシートおよび教員用の指導書がダウンロードでき、校外学習での来館・授業に合わせて自由に活用できる。



館内での取組のようす

製作したワークシートおよび教員用の指導書は当館公式HPにてダウンロードでき、校外学習での来館・授業に合わせて自由に活用できるようにした。また、運用してもらうための工夫として、小学校へと送付する販促リーフレットツールを制作した。

実際に活用いただいた学校の様子を見ていると、本ワークシートによって観察したようすを記入して持ち帰るようになるなど、海や自然環境と触れる機会の少ない東京都区内近隣の小学生の校外学習にとって、海をはじめとする水にくらすいきものに触れる機会や親しみを創出することができた。

先生方には団体利用予約時にワークシートの利用をおすすめしたり、HPに告知を掲載するなど、利用促進を図った。実際に利用している学年やワークシートの活用方法はさまざまで、先生方が授業の中でアレンジしているようすが見受けられた。

【参加者の声】

- 「生き物の様子や環境について学ぶことができた。」
- 「子供たちがひとつの生き物を選び興味を持つことができた。」
- 「日本の周りに素敵な海があることに感動した。」
- 「海洋資源の保護や環境問題に向き合うことができた」

3. プログラム利用各校へのアンケートやインタビューを通しての振り返りの実施と改善

【開催日時】2021年10月1日（金）～2022年3月31日（木）

【開催場所】すみだ水族館

【参加者数】3人

【活動内容・目的】

- ワークシートをご利用されている学校にアンケートの記入を依頼。
行動時間も限られている場合が多く後日ファックスでの回答をお願いした。
- 館内でも先生方へ直接ヒアリングを行った。その結果を館内で共有した。

すみだ水族館学習サポートプログラム 利用者アンケート (先生用)

■利用日: 2021年 12月 10日
■学校名: _____

1. 本日のご利用についてお答えください。

① すみだ水族館の団体利用は何回目ですか
はじめ / 2回目 / 3回目 / それ以上 (回答)

② すみだ水族館に団体で利用されたきっかけはなんですか
(交通の便 / 学習内容 において施設がとまるといい)

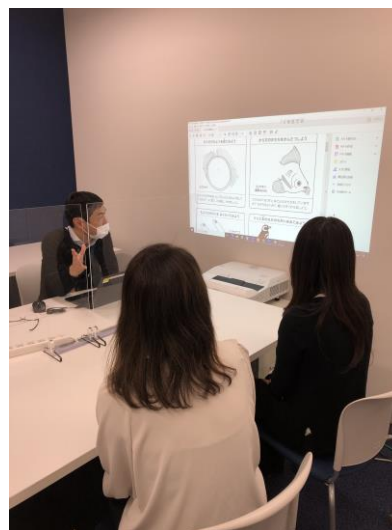
③ 利用したワークシートはどれですか
おもしろい実験シート / いまもを飽かした / おもしろい実験シート / 水質測定器(人)について学び

④ ワークシートの難易度はいかがでしたか
かなり難しい / 少し難しい / ちょうどいい / 少し簡単 / かなり簡単

2. 海の学びについてお答えください。

① 今日参加した活動から「海」を感じることができましたか ① → 2 → 1
② 「海」について学びましたか ② → 2 → 1
③ 「海」に親しみを持ちましたか ③ → 2 → 1
④ 「海」のことをもっと知りたくなりましたか ④ → 2 → 1
⑤ 「海」は大切だと思えますか ⑤ → 2 → 1
⑥ 「海」を守りたくなりましたか ⑥ → 2 → 1

⑦ 今日利用された中で、一番良かったと思うことは何ですか?



アンケートならびに共有会議のようす

利用している先生方のヒアリングによると、ワークシートを活用することによって、子どもたちの学びにつながり、授業への組み込みがしやすくなったとの声を頂戴した。

一方で校外学習の限られた時間でボリュームが多いというご意見もあった。

目標の1,700名に対して実績は1,083名と未達に終わったが、今後も継続してワークシートを告知、提供していくことで引き続き博学連携取組を推進していきたい。

【参加者の声】

○中高学年向けワークシートは少し難しそうという意見が先生からあった

○もう少しアンケートの母数を集めて改善ポイントを洗い出していくという結論となった。

【事業全体のまとめ】

・新型コロナウイルス禍でもあり、学校団体のキャンセルも多かったが 1,000 名以上の小学生にご利用いただくことが出来た。ただ生き物を観覧しがちな水族館において、生き物を「観察」するツールを使用することで水族館を「海の学び」とすることができた。また学習要領に沿った内容とし校外学習に組み込みやすくすることで、継続的な博学連携が実現できた。

・参加人数は 1,083 名と目標には未達であったが、今後もホームページにてご案内することで目標人数の達成を目指したい。またアンケートの母数も増やし今後の改善につなげたい。

主な連携・協力先について

連携・協力先名称	連携・協力の内容
1. 墨田区教育委員会	墨田区各小学校への告知協力

主な広報結果について

掲載媒体名	見出し、掲載日
1. 自社ホームページ	2021 年 10 月 1 日

以上

※上記写真等は特別な許可を得て撮影されたものです。無断転載等はできません。